

2017年衆議院議員選挙 **歯科医療政策アンケート**

**1、衆議院選挙における政策（マニフェスト等）に歯科医療政策はありますか**

①ある（ ） ②ない（ ） ③その他（ ）

\*「ある」場合はその資料も併せてお送りください。

**2、いつでも、どこでも、だれもが、お金の心配をせず「保険で良い歯科医療」が受けられるための施策について**

現在、経済的理由で歯科受診を中止、中断する人が5割にのぼり、高い窓口負担に加え、歯科では保険のきかない治療が歯科受診を妨げている要因にもなっています。その改善のために、

**（1）窓口負担割合を引き下げることについて**

①賛成（ ） ②反対（ ） ③その他（ ）

**ご意見**

**（2）現在、国が、窓口負担を無料化している自治体に対して、本来支払われる国保の国庫負担金を減額するペナルティを科していることについて**

①賛成（ ） ②反対（ ） ③その他（ ）

**ご意見**

**（3）私たちのアンケートでは9割を超える人が「保険のきく範囲を広げてほしい」と答えています。保険のきく歯科治療の範囲を広げることについて**

①賛成（ ） ②反対（ ） ③その他（ ）

**ご意見**

**（4）上記（3）とは反対に、公的医療保険を縮小させる動き<自費診療・混合診療の拡大（保険外併用療養を含めて）>があります。こうした動きについて**

①賛成（ ） ②反対（ ） ③その他（ ）

**ご意見**

3、長年にわたる医療費抑制政策のもと、歯科医療危機に歯止めはかかっていません。歯科医療崩壊を食い止めるには、診療報酬の大幅な引き上げが必要だと考えますが、どのようにお考えですか。

ご意見

4、現在自治体による妊婦・母子健診、学校・自治体・事業所健診など様々な機会・分野で歯科健診が実施されていますが、まだまだ不十分です（年齢の制約・制限の、健診内容の制約、負担金額など）。歯科疾患の重症化を防ぐために早期発見、早期治療を促す歯科健診を充実させることについて

①賛成（ ） ②反対（ ） ③その他（ ）

ご意見

5、超高齢社会をむかえ、専門的口腔ケアの担い手である歯科衛生士の役割はますます重要になっています。現在有資格者の6割が未就業という状況で、慢性的な歯科衛生士不足となっています。診療報酬の評価が低いために、歯科診療所で歯科衛生士が雇用できない状況が広がっています。その打開のために、どのような施策が必要と考えますか。

ご意見

6、技工料が安いために低賃金・長時間労働を強いられ、離職する若い歯科技工士も増えています。歯科技工士学校の志願者が激減し、定員割れや廃校が急速に広がっています。歯科技工士の技術と労働を適正に評価するために、補てつ関連への低診療報酬の改善が必要と考えますが、どのようにお考えですか。

ご意見

ご協力ありがとうございました。